

参考資料 3-⑤
令和 4 年度第 2 回
沖縄総合事務局
開発建設部
事業評価監視委員会

再評価結果（原案）

○石垣港新港地区旅客船ターミナル整備事業

沖縄総合事務局開発建設部

参考資料 1

事業名	石垣港新港地区旅客船ターミナル整備事業	担当課	港湾局計画課	事業主体	沖縄総合事務局																																																																				
実施箇所	沖縄県石垣市																																																																								
該当基準	社会経済情勢の急激な変化																																																																								
主な事業の諸元	岸壁(水深10m)、泊地(水深10m)、防波堤(外)、道路② 等																																																																								
事業期間	事業採択	平成17年度	完了	令和11年度																																																																					
総事業費(億円)	367		残事業費(億円)	98																																																																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・石垣港は貨物船と調整しながらの施設の利用となっているため、更なる旅客船の受け入れが困難となっている。 ・大型旅客船が接岸している岸壁は本来貨物等を取扱うための施設であり、旅客と貨物が輻輳することから、荷役作業の効率性と旅客の安全性が確保されていない状況となっている。 ・7万トン級を超える旅客船が着岸可能な係留施設がない。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型旅客船に対応した係留施設及び水域施設を整備し、大型旅客船の寄港回数増加に向けた環境を整備する。 ・旅客と貨物の輻輳を緩和し、荷役作業の効率化及び旅客の安全性の向上を図る。 																																																																								
上位計画の位置づけ	<p><第5次社会資本整備重点計画(令和3年5月28日閣議決定)></p> <p>重点目標4 経済の好循環を支える基盤整備</p> <p>4-2 地域経済を支える観光活性化等に向けた基盤整備</p> <p><経済財政運営と改革の基本方針2022(令和4年6月7日閣議決定)></p> <p>第2章 新しい資本主義に向けた改革</p> <p>2. 社会課題の解決に向けた取組</p> <p>(3) 多極化・地域活性化の推進</p> <p><港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針(令和2年3月13日告示)></p> <p>II 港湾の配置、機能及び能力に関する基本的な事項</p> <p>1 特に戦略的に取り組む事項に係る基本的な事項</p> <p>(2) 観光立国と社会の持続的発展を支える港湾機能の強化と港湾空間の利活用</p> <p>① 観光を我が国経済成長につなげるクルーズの振興</p>																																																																								
事業の多面的な効果	<p>■政策目標・施策目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化 ・施策目標:海上物流基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、みなとの振興、安定的な国際海上輸送の確保を推進する。 <p>■定性的・定量的な効果</p> <p><定性的な効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用の創出、地域活力の向上 ・訪日クルーズ旅行の魅力の向上 ・良好な景観の形成 ・国際交流の進展 ・観光地としての魅力向上 ・荷役作業の効率化と旅客の安全性の向上 ・土地の造成に伴う新たな賑わい交流空間の創出 <p><定量的な効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際観光純収入の増加 ・残存価値の発現 <p>■定量的効果のうち投資効率性</p> <p>○便益の主な根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際観光純収入の増加:2,668億円(令和17年予測大型旅客船の寄港回数:401回/年、うち便益対象255回/年) <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> <th colspan="5"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B:総便益(億円)</td> <td>2,677</td> <td>C:総費用(億円)</td> <td>472</td> <td>EIRR(%)</td> <td>11.2</td> <td>B-C</td> <td>2,205</td> <td>全体B/C</td> <td>5.7</td> </tr> <tr> <td>B:総便益(億円)</td> <td>2,026</td> <td>C:総費用(億円)</td> <td>80</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>継続B/C</td> <td>25.2</td> </tr> <tr> <td>(感度分析)</td> <td>事業全体のB/C</td> <td>残事業のB/C</td> <td colspan="7"></td></tr> <tr> <td>需 要 (-10% ~ +10%)</td> <td>5.1~6.2</td> <td>22.7~27.7</td> <td colspan="7"></td></tr> <tr> <td>建 設 費 (+10% ~ -10%)</td> <td>5.6~5.8</td> <td>22.9~28.0</td> <td colspan="7"></td></tr> <tr> <td>建設期間 (+10% ~ -10%)</td> <td>5.5~5.8</td> <td>24.7~26.1</td> <td colspan="7"></td></tr> </tbody> </table>					基準年度	令和4年度							B:総便益(億円)	2,677	C:総費用(億円)	472	EIRR(%)	11.2	B-C	2,205	全体B/C	5.7	B:総便益(億円)	2,026	C:総費用(億円)	80					継続B/C	25.2	(感度分析)	事業全体のB/C	残事業のB/C								需 要 (-10% ~ +10%)	5.1~6.2	22.7~27.7								建 設 費 (+10% ~ -10%)	5.6~5.8	22.9~28.0								建設期間 (+10% ~ -10%)	5.5~5.8	24.7~26.1							
基準年度	令和4年度																																																																								
B:総便益(億円)	2,677	C:総費用(億円)	472	EIRR(%)	11.2	B-C	2,205	全体B/C	5.7																																																																
B:総便益(億円)	2,026	C:総費用(億円)	80					継続B/C	25.2																																																																
(感度分析)	事業全体のB/C	残事業のB/C																																																																							
需 要 (-10% ~ +10%)	5.1~6.2	22.7~27.7																																																																							
建 設 費 (+10% ~ -10%)	5.6~5.8	22.9~28.0																																																																							
建設期間 (+10% ~ -10%)	5.5~5.8	24.7~26.1																																																																							
社会経済情勢等の変化	平成30年4月 石垣港新港地区旅客船ターミナル暫定供用開始。 新型コロナウイルスの影響により2020年以降、クルーズ船の寄港需要が低下。																																																																								
主な事業の進捗状況	総事業費367億円、既投資額269億円 令和4年度末現在 事業進捗率73%																																																																								
主な事業の進捗の見込み	令和11年度完了予定																																																																								
コスト縮減や代替案立案等の可能性	コスト縮減については撤去された消波ブロック等を流用材として防波堤整備へ有効活用し、ブロック製作費を削減した。また、現時点において代替案等の可能性はないものの、今後の事業実施に際しても適切に対応していかたい。																																																																								
対応方針	継続																																																																								
対応方針理由	十分な事業の投資効果及び進捗の目途が確認されたため																																																																								
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応方針(案)は妥当である。 																																																																								

参考資料 2

便益

項目	区分	単位当りの便益			便益(代表年)
		単位	備考	単位	
利用者便益	国際観光純収入の増加	20	千円/人	旅客数増加による国際観光純収入の増加効果	168 億円/年
地域社会	残存価値の発現	58	億円	施設の残存価値	58 億円

* 便益の算出にあたっては、「港湾投資の評価に関する解説書2011」を参照
費用

費用項目	建設費、管理運営費
事業の対象施設	岸壁(水深10m)、泊地(水深10m)、防波堤(外)、道路② 等

便益算出詳細資料

国際観光純収入の増加便益

大型旅客船に対応した施設を整備することにより、外航旅客船の入港隻数が増加し、外国人旅客による国際観光純収入の増加が図られる。
対象プロジェクトの実施により、年間168.3億円の国際観光純収入が増加可能となる。

【国際観光純収入の増加便益】

項目	With時	Without時
①一時上陸者数(人/年)	1,061,100	219,600
②1人当たり消費額(円/年)	20,000	20,000
③年間消費額(億円/年)	212.2	43.9
国際観光純収入の増加便益額(億円/年)	168.3	

残存価値

防波堤と港湾施設用地については、プロジェクトの供用終了後もその機能を発揮し続けると考えられることから、その便益を計上する。残存便益については、その整備費用の1/10を供用最終年に一括して便益として計上を行う。

対象プロジェクトの実施により、供用最終年には58.3億円の残存価値が発現する。

【残存価値】

項目	With時	Without時
①防波堤(沖南)	0.3	-
②防波堤(外)300m	4.7	-
③新港防波堤	1.5	-
④防波堤(外)280m延伸	12.1	-
⑤土砂処分場	39.6	-
残存価値(億円)	58.3	

石垣港新港地区旅客船ターミナル整備事業

【全体事業】

参考資料 4

費用便益分析シート(割引前)

費用便益分析シート(割引後)

EIRR= 11.2% NPV= 2,205 億円
B/C= 5.7

年度	施設 供用 期間	初期投資・ 更新投資	管理 運営費	総費用 (C)	割引前		総便益 (B)	純便益 (B-C)
					国際観光客 収入の増加 便益	残存価値		
2004							-5.6	
2005	5.6		5.6				-15.2	
2006	15.2		15.2				-16.8	
2007	16.8		16.8				-13.9	
2008	13.9		13.9				-13.6	
2009	13.6		13.6				-8.9	
2010	8.9		8.9				-9.2	
2011	9.2		9.2				-16.4	
2012	16.4		16.4				-6.6	
2013	6.6		6.6				-5.4	
2014	5.4		5.4				-15.5	
2015	15.5		15.5				-24.0	
2016	24.0		24.0				-22.7	
2017	16.1		16.1				-14.3	
2018	20.9	0.02	20.9				-20.9	
2019	21.6	0.02	21.9		3.3		-18.6	
2020	34.6	0.02	34.6				-34.8	
2021	27.1	0.02	27.2				-27.2	
2022	2	0.02	20.5				-20.5	
2023	3	0.02	19.1	12			-7.6	
2024	4	0.02	23.8	12			-11.9	
2025	5	0.02	25.3	13			-12.6	
2026	6	0.02	6.8	13			6.5	
2027	7	0.02	6.9	14			7.3	
2028	8	0.02	3.7	30			26.4	
2029	9	0.02	3.7	32			28.1	
2030	10	0.02	0.0	152			152.2	
2031	11	0.02	0.0	166			166	
2032	12	0.02	0.0	169			169	
2033	13	0.02	0.0	169			169	
2034	14	0.02	0.0	169			169	
2035	15	0.02	0.0	169			169	
2036	16	0.02	0.0	169			169	
2037	17	0.02	0.0	169			169	
2038	18	0.02	0.0	169			169	
2039	19	0.02	0.0	169			169	
2040	20	0.02	0.0	169			169	
2041	21	0.02	0.0	169			169	
2042	22	0.02	0.0	169			169	
2043	23	0.02	0.0	169			169	
2044	24	0.02	0.0	169			169	
2045	25	0.02	0.0	169			169	
2046	26	0.02	0.0	169			169	
2047	27	0.02	0.0	169			169	
2048	28	0.02	0.0	169			169	
2049	29	0.02	0.0	169			169	
2050	30	0.02	0.0	169			169	
2051	31	0.02	0.0	169			169	
2052	32	0.02	0.0	169			169	
2053	33	0.02	0.0	169			169	
2054	34	0.02	0.0	169			169	
2055	35	0.02	0.0	169			169	
2056	36	0.02	0.0	169			169	
2057	37	0.02	0.0	169			169	
2058	38	0.02	0.0	169			169	
2059	39	0.02	0.0	169			169	
2060	40	0.02	0.0	169			169	
2061	41	0.02	0.0	169			169	
2062	42	0.02	0.0	169			169	
2063	43	0.02	0.0	169			169	
2064	44	0.02	0.0	169			169	
2065	45	0.02	0.0	169			169	
2066	46	0.02	0.0	169			169	
2067	47	0.02	0.0	169			169	
2068	48	0.02	0.0	169			169.5	
2069	49	0.02	0.0	169			169.5	
2070	50	0.02	0.0	169	59		228	228.2
2071	51							
2072	52							
合計		381	1.02	382	7,057	58.7	7,115	6,733

年度	施設 供用 期間	社会的 割引率	割引後		総便益 (B)	純便益 (B-C)
			初期投資・ 更新投資	管理 運営費		
2004		2.03				
2005		1.95	10.9		10.9	-10.9
2006		1.87	28.5		28.5	-28.5
2007		1.80	30.2		30.2	-30.2
2008		1.73	24.0		24.0	-24.0
2009		1.67	22.7		22.7	-22.7
2010		1.60	14.3		14.3	-14.3
2011		1.54	14.2		14.2	-14.2
2012		1.48	24.2		24.2	-24.2
2013		1.42	9.4		9.4	-9.4
2014		1.37	7.4		7.4	-7.4
2015		1.32	20.3		20.3	-20.3
2016		1.27	30.3		30.3	-30.3
2017		1.22	19.6		19.6	-19.6
2018		1.17	24.4	0.03	24.5	-24.5
2019		1.12	24.6	0.02	24.6	-20.9
2020		1.08	37.6	0.02	37.6	-37.6
2021	1	1.04	28.3	0.02	28.3	-28.3
2022	2	1.00	20.5	0.02	20.5	-20.5
2023	3	0.96	18.4	0.02	18.4	-11.0
2024	4	0.92	22.0	0.02	22.0	-11.0
2025	5	0.89	22.5	0.02	22.5	-11.2
2026	6	0.85	5.8	0.02	5.8	5.5
2027	7	0.82	5.6	0.02	5.6	6.0
2028	8	0.79	2.9	0.02	2.9	20.9
2029	9	0.76	2.8	0.01	2.8	21.3
2030	10	0.73		0.01	0.0	111.2
2031	11	0.70		0.01	0.0	111.2
2032	12	0.68		0.01	0.0	114.5
2033	13	0.65		0.01	0.0	110.1
2034	14	0.62		0.01	0.0	105.8
2035	15	0.60		0.01	0.0	102.1
2036	16	0.58		0.01	0.0	98.1
2037	17	0.56		0.01	0.0	94.1
2038	18	0.53		0.01	0.0	90.5
2039	19	0.51		0.01	0.0	87.0
2040	20	0.49		0.01	0.0	84.7
2041	21	0.47		0.01	0.0	80.4
2042	22	0.46		0.01	0.0	77.3
2043	23	0.44		0.01	0.0	74.4
2044	24	0.42		0.01	0.0	71.5
2045	25	0.41		0.01	0.0	68.8
2046	26	0.39		0.01	0.0	66.1
2047	27	0.38		0.01	0.0	63.6
2048	28	0.36		0.01	0.0	61.1
2049	29	0.35		0.01	0.0	59.8
2050	30	0.33		0.01	0.0	56.5
2051	31	0.32		0.01	0.0	54.3
2052	32	0.31		0.01	0.0	52.2
2053	33	0.30		0.01	0.0	50.2
2054	34	0.29		0.01	0.0	48.3
2055	35	0.27		0.01	0.0	46.4
2056	36	0.26		0.01	0.0	44.7
2057	37	0.25		0.00	0.0	42.9
2058	38	0.24		0.00	0.0	41.3
2059	39	0.23		0.00	0.0	40.7
2060	40	0.23		0.00	0.0	38.2
2061	41	0.22		0.00	0.0	36.7
2062	42	0.21		0.00	0.0	35.3
2063	43	0.20		0.00	0.0	34.9
2064	44	0.19		0.00	0.0	33.6
2065	45	0.19		0.00	0.0	31.4
2066	46	0.18		0.00	0.0	30.2
2067	47	0.17		0.00	0.0	29.0
2068	48	0.16		0.00	0.0	27.9
2069	49	0.16		0.00	0.0	26.8
2070	50	0.15		0.00	0.0	25.7
2071	51	0.15		0.00	0.0	24.7
2072	52	0.14		0.00	0.0	22.05
合計		471	0.52	472	2,668	8.9
						2,677

参考資料 5

港湾整備事業 事業費内訳

(1) 事業費

項目	単位	数量	全体事業費 (億円)	残事業費 (億円)
工事費				
防波堤(沖南)	式	1		
本体工 他一式	m	40	3.2	0
防波堤(外)	式	1		
本体工 他一式	m	580	119	50
新港防波堤	式	1		
本体工 他一式	m	230	14	0
岸壁(-10m)	式	1		
本体工 他一式	m	420	89	0
泊地(-10m)	式	1		
浚渫工	m3	1,148,000	103	25
航路・泊地(-10m)	式	1		
浚渫工	m3	288,000	12	8.0
航路・泊地(-10m)(防波堤撤去)	式	1		
浚渫工	m	240	15	15
道路②(新港2号線)	式	1		
舗装工 他一式	m	1,420	11	0
合計			367	

(2) 管理運営費

項目	単位	数量	金額(億円)
管理運営費等	式	1	1.0

※港湾管理者へのヒアリングにより算出している。